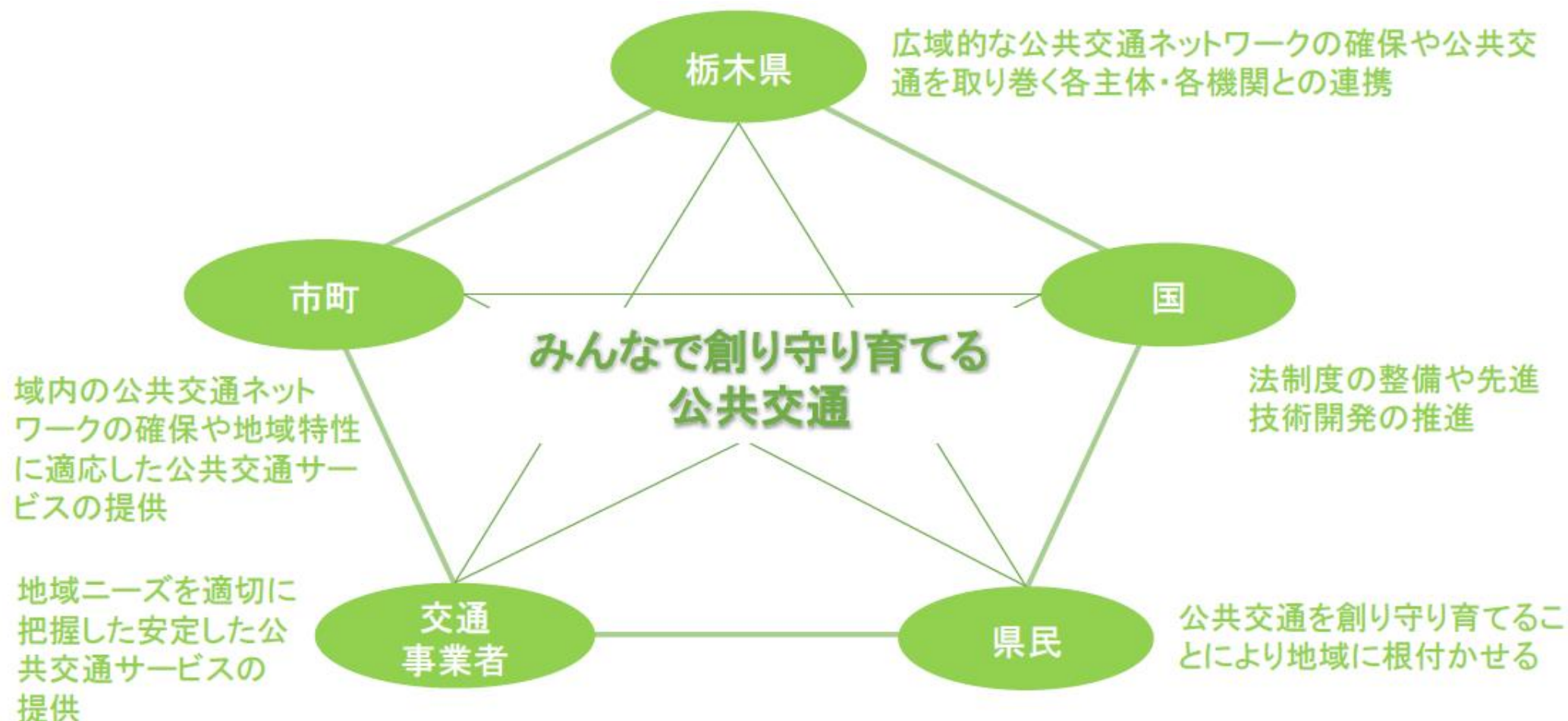


令和5(2023)年度

第1回 栃木県地域公共交通活性化協議会

計画策定の方方向性の再整理

- ✓ 本県の関連計画の位置づけも踏まえ、県、市町、交通事業者等のそれぞれの主な役割を以下に示す。
- ✓ 県と市町の役割分担については、市町は域内の生活交通、県は広域的な幹線交通について主に担うこととし、県、市町等の各主体が連携・協働して公共交通ネットワークを創り守り育てる。



【凡例】 創 新規 守 維持 育 充実

主体	主な役割	具体の役割	出典
栃木県	広域的な公共交通ネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> 創 栃木県地域公共交通計画の策定(改定)・推進 守 育 広域的な幹線交通ネットワークの確保 創 広域的・幹線的な交通に関する施策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 他県計画 とちぎ生活交通ネットワークガイドライン
	公共交通を取り巻く各主体・各機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 育 幹線交通を支えている交通事業者・市町への助言・運行支援・情報提供の充実 守 各機関の他計画との連携・調整 守 複数の地域関係者(市町・交通事業者等)間の調整 育 補助を含む諸制度の充実・支援 	<ul style="list-style-type: none"> とちぎ生活交通ネットワークガイドライン とちぎ公共交通ネットワーク形成基本指針
市町	域内の公共交通ネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> 創 地域公共交通計画の策定(改定)・推進 守 育 市町域内の生活交通ネットワークの確保 	<ul style="list-style-type: none"> 他県計画
	地域特性に適応した公共交通サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 創 交通事業者や地域住民との連携・協働による地域特性に適応した効果的・効率的な運行サービスの導入 育 地域関係者との連携や住民への情報提供の充実 	<ul style="list-style-type: none"> とちぎ生活交通ネットワークガイドライン とちぎ公共交通ネットワーク形成基本指針
国	法制度の整備	育 地域課題等に対応した法制度の整備や財政的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 他県計画
	先進技術開発の推進	創 自動運転等の先進技術開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> とちぎ生活交通ネットワークガイドライン
交通事業者	地域ニーズを適切に把握した安定した公共交通サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 創 地域ニーズを把握するための各種データ提供 守 地域のニーズを踏まえた安定した公共交通サービスの提供 守 利用者に対するわかりやすい情報の提供 創 新たなニーズを喚起する取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> とちぎ公共交通ネットワーク形成基本指針
県民 (学校・企業等を含む)	公共交通を創り守り育てることにより地域に根付かせる	<ul style="list-style-type: none"> 守 モビリティ・マネジメント(MM)への積極的な参加(積極的な公共交通の利用により運行本数の増加等に繋げる) 育 学校・企業等による通勤通学者への公共交通利用の呼びかけの充実 創 公共交通に関する要望(住民発議の新規路線等)の提示 	<ul style="list-style-type: none"> 他県計画

公共交通の課題

- ①公共交通の持続可能性
- ②利便性向上
- ③利用促進
- ④移動制約者への対応
- ⑤他分野との連携
- ⑥交通事業者や市町との連携



県全体の公共交通の方向性

みんなで一緒に「つくり」・「まもり」・「そだてる」
とちぎの未来に繋げる公共交通

・「幹・枝・葉※1」の運行により、維持すべき幹線・支線・地域内交通の位置づけを明確化※2し、みんなで一緒に公共交通を創り守り育てる。

※1: 幹: 新幹線、枝: 鉄道、バス、葉: コミュニティバス、デマンド交通、タクシー 等

※2: 位置づけはネットワーク図で要議論

県の公共交通の目標

目標①: 広域的な公共交通ネットワークの維持・形成

- ・移動ニーズに応じた公共交通サービス提供を目指し、首都圏を中心とした「県外」と市町間をつなぐ「県内」の広域的な公共交通ネットワークの維持・形成する。

【評価指標】

- ・公共交通の運行本数 等

目標②: まちづくり等と連携した公共交通サービスの充実

- ・立地適正化計画など他計画と連携し、日常生活や観光等において利用しやすい公共交通サービスを創出する。

【評価指標】

- ・立地適正化計画の策定自治体数
- ・公共交通に関する満足度 等

目標③: 各主体が共創した公共交通の運営維持

- ・公共交通を取り巻く公共交通離れなどの全県的な課題に対し、県・市町・交通事業者が一体となり県民とともに公共交通を創り守り育てる。
- ・交通事業者・市町の人材不足・財政負担などの課題に応じた県の支援制度を整備する。

【評価指標】

- ・公共交通の収支率
- ・公共交通への公的資金投入額 等

目標達成のための施策

目標①: 広域的な公共交通ネットワークの維持・形成

【施策1-1】広域交通ネットワーク維持・形成 県

- ・多様な輸送資源の活用
- ・広域バスの導入促進や関係者との調整
- ・新交通等の整備推進支援
- ・幹・枝・葉での運行に向けた検討

【施策1-2】適切な交通モードの選択 県 市

- ・デマンドバスに頼りすぎな側面もあるため、地域特性に応じた適切な交通モード選択への助言・指導（相談窓口、複数自治体での検討等）
- ・地域共助型生活交通の導入支援

【施策1-3】補助制度の見直し 県

- ・栃木県の市町村生活交通路線運行費補助等、補助制度の見直し
- ・人にやさしいバス整備事業費補助制度
- ・人にやさしいユニバーサルデザインタクシー整備事業費補助金

目標達成のための施策

目標②：まちづくり等と連携した公共交通サービスの充実

【施策2-1】立地適正化計画との連携

県 市

- ・立地適正化計画の策定・推進

【施策2-2】交通結節点の整備

県 市 交

- ・交通結節点の整備
- ・交通結節点からの二次交通の充実
- ・公共交通のバリアフリー化の促進（栃木県鉄道駅バリアフリー化整備補助制度等）

【施策2-3】適切なサービス水準の確保

県 市 交

- ・地域公共交通計画の策定・推進
- ・各種交通モードと連携した運行本数の確保
- ・地域のニーズを踏まえた運行の効率化

【施策2-4】情報提供・発信

県 市 交

- ・リアルタイムなバス運行情報の見える化の促進
- ・県内の主要駅におけるバスの案内表示の統一化、多言語表記

【施策2-5】観光施策との連携

県 市 交

- ・MaaSの活用による周遊観光の促進
- ・シェアサイクルの導入促進

【施策2-6】DXなどの新技術の導入・活用

県 市 交

- ・交通情報共有基盤の構築/MaaSへの展開検討
- ・交通系ICカード導入・活用の促進
- ・キャッシュレス導入支援

赤字は、協議会等で
意見のあったもの

2. 栃木県における公共交通の目標設定

目標達成のための施策

目標③: 各主体が共創した公共交通の運営維持

【施策3-1】モビリティ・マネジメントの推進



- ・バス・鉄道利用デーの実施
- ・オフピーク利用の促進、エコ通勤の推進
- ・のりもの・のりかたガイドブックの作成・配布

赤字は、協議会等で
意見のあったもの

【施策3-2】県民による取組の促進



- ・県民による取組の推進に向けた助言・支援
- ・住民主体による公共交通運行(清原さきがけ号)
- ・トリガー方式を活用した路線の開拓
- ・公共交通サポーター制度の検討

【施策3-3】市町や事業者の取組への支援



- ・市町職員向け公共交通勉強会の実施
- ・県内の第三セクター鉄道に対する支援(鉄道網整備促進事業)
- ・路線バス等の生活交通の運行支援
- ・タクシー利便増進の取組に対する支援

【施策3-4】交通関係機関同士の連携



- ・沿線や地域の事業者・市町・県による定期的な意見交換の実施(地域部会や協議会の継続)
- ・「とちぎの公共交通」の作成・公表

【施策3-5】新技術の導入・活用



- ・無人自動運転移動サービス導入検証事業(ABCプロジェクト)の推進やAIデマンド交通等の新たな公共交通システムの導入促進
- ・GX等、他部署で所管する取組との連携